

私情協 ニュース No.4

公益社団法人 私立大学情報教育協会 令和5年度 私情協 教育イノベーション大会 オンライン開催 開催要項

9月5日(火)：全体会

9:50	開会挨拶 公益社団法人 私立大学情報教育協会 会長 向殿 政男氏
10:00	【我が国の教育をめぐる現状・課題・展望】 新たな教育振興基本計画のコンセプトと高等教育の政策 将来の予測が困難な時代において教育政策の進むべき方向性を示す「羅針盤」となるべき総合計画として、閣議決定された令和5年度から9年度における第4期教育振興基本計画について、社会の現状や変化への対応と今後の展望などから、高等教育機関として教育政策を推進する目標と基本施策を紹介いたします。 廣田 貢氏 (文部科学省総合教育政策局政策課企画官)
10:40	休憩
10:50	【変革の世紀を生き抜く教育を考える】 「教育の未来」を築くイノベーションの学びとは デジタル革命の先にある教育を十全に実現していくには、従来の教育の理念と方法を超越するイノベーションやデジタル技術の効果と限界を理解し、効果的に使うことが重要です。その上で、広くイノベーションを担う人材の育成が不可欠ですが、そのための足本はありません。教育関係者自らが未来を託す学生の幸せに力強い努力が、教育のDXによる学びのオープン化、イノベーションスキルの育成、リベラルアーツの醸成など、何をどのように学ばなければならないか、その学びをどのように支援すればよいのか、論点を整理いたします。 安西 祐一郎氏 (東京財団政策研究所長、日本学術振興会顧問、本協会副会長)
11:30	【国等が取り組むデジタル人材の育成・確保】 数理・データサイエンス(DS)・AI教育の推進・普及と生成AIの取り扱い 令和5年度の申請状況を踏まえた数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の概要、コンソーシアム活動によるリテラシーレベル、応用基礎レベルのモジュールカリキュラムや教育者の普及による全国展開の推進、政府提言等の政策動向、大学・高専における生成AIの教学面の取扱いなどについて紹介いたします。 奥井 雅博氏 (文部科学省高等教育局専門教育課課長補佐)
12:10	休憩 (大学・企業連携によるICT導入・活用事例の紹介)
13:00	【シンポジウム】 大学教育への変革を迫る生成系AIの取り扱い 対話型ChatGPTに代表される生成系AIの出現に、大学教員はどのように向き合うことが適切と考えればよいのか、学生に活用させる上で留意すべきこと、使いこなすための訓練の必要性などを通して、知識偏重型教育から考えるプロフェッショナル教育への転換を含め多面的に議論していただきます。 竹村 彰通氏 (滋賀大学学長) 須藤 修氏 (中央大学ELSIセンター所長、国際情報学部教授) 安西祐一郎氏 (東京財団政策研究所長、日本学術振興会顧問、本協会副会長) 森本 康彦氏 (東京学芸大学ICT/情報基礎センター、情報教育教室教授) 金丸 敏幸氏 (京都大学国際高等教育院附属国際学術言語教育センター准教授) 高橋 英弘氏 (京都産業大学法学部教授) 司会：辻智氏 (私情協情報教育推進委員会 データサイエンス教育分科会アドバイザー、大阪公立大学研究推進機構特任教授)
15:00	休憩
15:20	【メタバース(仮想空間)による教育を考える】 新しい世界を知る機会に 自分に代わりメタバースの分身としてのアバターを使うことで、偏見や先入観を排除して様々な人と広く交流し、性別・国籍・年齢・立場を超えて新しい人間関係を作り直す、新しい文化や社会を知る機会になる。実験や自習など体験をともなう身体感の補充など、学内外の学生、中高生や社会人向けに大学の講義をもとにしたオンライン講座などを提供している東京大学メタバース学部などの取組みを紹介いたします。 雨宮 智浩氏 (東京大学バーチャルリアリティ教育研究センター教授)
16:00	終了

公益社団法人 私立大学情報教育協会 令和5年度 私情協 教育イノベーション大会 開催要項

オンライン開催

日 時：令和5年9月5日(火)・6日(水)・7日(木)
 配信会場：アルカディア市ヶ谷 (東京、私学会館)
 開催方法：オンラインによるテレビ会議室(Zoom使用)とします。なお、申込者には一週間前にメールでテレビ会議専用のURLをお知らせします。

テーマ：AI時代の教育と人材育成を考える

開催趣旨

あらゆるモノがネットにつながるIoT、AI(人工知能)の普及に伴い、膨大なデータが世界各地で毎日生み出されています。企業や個人・社会等組織の活動はもとより、一人ひとりの生活や行動に至るまでビッグデータとして記録・分析され、使い次第では人類の存在をも左右する可能性とリスクを併せ持っています。有限な資源の「石油」に対し、無限に近い資源の「データ」は、デジタル世紀が創り出す「新たな資源」です。加えて目まぐるしく変化するデジタル技術の進化は、仮想空間と現実空間を連携し、モノ・情報・人を一つにつなぎAI等の活用を通じてオープンイノベーションを起こし、人々の幸せと豊かさを享受する社会の創出に大きな影響を及ぼすことが言われています。特に生成系AIは、生活、産業、教育、健康などデータ化されている多くの分野で利活用が進み、物事を根底から変えていく可能性が想定されています。

これらの資源・AI等の技術を生きとし生けるもの幸せに役立てられるか否かは、正に人間の叡知に期待されています。大学では、真理の探究を通じて自然との共存、科学技術との調和、人と人との共生など倫理観を醸成した全体論議を目指す学びが求められており、如何に向き合っていくべきか、大学教育へ変革が迫られています。

そのことから本大会では、デジタル革命の真ただただ中であって、持続可能な社会を創り出す担い手としての教育のあり方、個人の幸せと社会の豊かさを實現するための教育のあり方の観点から、大学としてどのように向き合っていくかが期待されるのをご考察します。具体的には、国の教育政策を共有する中で、変革の世紀を生き抜く教育課題の論点、生成系AIへの対応、デジタル教材の著作権対応と生成系AIの対応、教育・学修支援DXと業務支援DX、学びの質向上を目指すICT活用、データサイエンス・AI授業のワークショップなど喫緊のテーマを取り上げ探求するとともに、ICT利活用による授業改善の研究発表などを通じて理解の促進を図ることにしています。

オンラインによるプログラムの枠組み

- 9月5日(火) 全体会 (国の教育政策、生成系AIのシンポジウムなど)
- 9月6日(水) テーマ別意見交流 (8テーマによる高見交流、ワークショップ)
- 9月7日(木) 教育改善を目指したICT利活用の発表

9月6日(水)：テーマ別憲章更新

※プログラムは一部調整のため、予期なく変更の可能性があります。

オンライン会場1	オンライン会場2
<p>【分科会：A】9：00～10：50 生成系 AI に対する大学対応(研修等含む)の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 東北大学 三石 大氏(東北大学・労働科学・AI 教育研究センター准教授) ※ 近畿大学 井口 信和氏(近畿大学総合情報センター長) ※ 上智大学 池田 真氏(上智大学学事センター長) ※ 京都ローランドダム女子大学 神井 紀輔氏(京都ローランドダム女子大学 ND 教育センター長) ※ 他1大学の紹介を予定 	<p>【分科会：B】9：00～10：30 企業における生成系 AI 活用の対応(社員教育含む)紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 生成 AI を踏まえたデジタル人材育成施策の改訂について 藤田 謙介氏(経済産業省情報政策情報局情報活用促進課調査官) ※ 社員が様々な業務に活用 向野 九二氏(パソニニック コネクティブ株式会社 IT・デジタル推進本部 戦略企画総務部戦略企画部シニアマネージャー) ※ 他1～2社の紹介を予定
<p>休 10：50～11：00</p> <p>【分科会：C】11：00～12：00 生成系 AI 授業活用事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ ChatGPT で英語教育の在り方を探究 山中 司氏(立命館大学生命科学研究科教授) ※ 模擬授業を考えるグループワークに ChatGPT 使用 高尾 俊介氏(甲南女子大学部次学部長准教授) 山下 朝氏(甲南女子大学部次学部長准教授) 	<p>休 10：30～10：40</p> <p>【分科会：D】10：40～12：00 働き方改革、業務支援 DX</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 職員の働き方改革宣言 (ビデオ講演) 千野 雅徳氏(上智学院人事部長) ※ 国際交流業務の DX 取組みと展望、課題 中村 文弘氏(桜美林大学国際交流センター課長) ※ 他1大学の紹介を予定
<p>休 12：00～13：00 (大学・企業連携による ICT 導入・活用事例の紹介)</p> <p>【分科会：E】13：00～14：20 学習者本位の教育、学びの質向上を目指す DX の読み取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 一人ひとりの個性を伸ばす目標、学習支援 DX の取組み 田代 謙三氏(日本経済大学学務推進部長、准教授) ※ DX による時間・場所の制約を超えた学びの場創出の取組み 鈴木 晃一氏(金沢工業大学工学部教授) ※ DX によるバーチャルクラスデジタルラーニングの取組み 西村 海二氏(広島大学情報メディア教育研究センター長) ※ 他1大学の紹介を予定 	<p>【分科会：F】13：00～14：10 デジタル教材の著作権対応と ChatGPT の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 補償金制度における権利処理の注目点と ChatGPT の対応 著作権者の講義により、教育現場で他者の著作物を利用することや無断複製を禁止しつつある。他方、同一性保持や目的外利用など著作権法で禁止されている他者の著作物の利用方法に対する注意事項について、課題の短絡化ははかりませ、なお、著作権者個人への謝罪金の分配については、著作物利用権限の一元化など本協会が課題として引き続き整理、認識の共有を図ります。また ChatGPT の取り扱いは、著作権保護などのように注意したらいのめ、などについて考察します。 中村 謙弘氏(神奈川大学学長補佐、法学部教授) 高尾 英弘氏(京都産業大学法学部教授)
<p>【分科会：G】14：20～15：20 学びの質向上を目指す ICT 活用の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ オンラインインテリジェンス法研学会 高尾 英弘氏(京都産業大学法学部教授) ※ ICT で「空手実活用」の可能性を探る地域連携教育 高橋 大輔氏(共立女子大学建築・デザイン学部教授) ※ 他1大学の紹介を予定 	<p>休 14：10～14：20</p> <p>【分科会：H】14：20～16：00 文系学生向けデータサイエンス・AI 授業のワークショップ</p> <p>多学部横断的データサイエンス授業の実践例と生成系 AI との向き合い方</p> <p>理系・文系の各学部から参加してデータサイエンス授業の工夫と、テキストや画像に関する生成系 AI との向き合い方について紹介します。</p> <p>辻 智氏(大阪公立大学研究推進機構特任教授、本協会情報教育研究委員会データサイエンス教育分科会アドバイザー)</p>
<p>【分科会：I】15：20～16：00 メタバースによる大学授業活用事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ メタバース・ラボでの課題解決型 PBL の試み 小田 まり子氏(久留米工業大学 AI 応用研究所所長) ※ メタバースによる国際協働学習の実践報告 林 雅子氏(東北大学高度教育・学生支援機構准教授) 	<p>休 15：20～16：00</p> <p>※ 9月7日の発表者は、大会期間中の全プログラムにオンラインで参加可能(申込不要)です。</p> <p>※ 本協会加盟校は右サイトで確認下さい https://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm</p>

9月7日(木)：教育改善を目指した ICT 利活用の発表

発表者リストは8月上旬に Web 掲載を予定しています。

申込方法・参加費など

申込方法 別紙または下記 Web の「申込用紙」に必要事項を記入いただき、FAX またはメール添付にてお送りください。
<https://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2023.htm>
FAX: 03-3261-5473 Mail: info@juce.jp
 ※ オンライン開催のため、一週前にテレビ会議専用ページ URL をメールでお送りします。
 ※ また、事前に大会資料集を郵送しますので、確実にお届けできるように、申込みの際には、各参加者がお受取り可能な送付先住所をご記入ください。資料は専用ページにも掲載します。

申込締切 8月30日(水)

参加費振込 できるだけ9月1日(金)までに大学単位で振込み下さい。

一括申込みの場合

振込依頼人名には、大学(法人)名、社名を入れて下さい。

個人申込みの場合

振込依頼人名には、大学名と氏名の両方をできるだけ入れて下さい。

※ 印字

振込先

りそな銀行 市ヶ谷支店 普通 0054409 私情協
 〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4F TEL:03-3261-2798

* インボイス登録番号 T4010005016714

* 振込手数料は申込者各自で負担願います。

* お申し込み後のキャンセルは8月30日(水)まで受付し、お支払いされた参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金します。

* 一週前にテレビ会議専用ページ URL をメールでお送りした後のキャンセルはできません。この場合、参加費の返金は致しませんのでご了承ください。

参加費(3日間) (税込)

加盟校：大学単位 45,000円 (目安10名まで)
 (10%対象の税込金額 45,000円、内消費税額 4,090円)

加盟校：個人単位 27,000円
 (10%対象の税込金額 27,000円、内消費税額 2,454円)

非加盟校：大学単位 65,000円 (目安10名まで)
 (10%対象の税込金額 65,000円、内消費税額 5,909円)

非加盟校：個人単位 43,000円
 (10%対象の税込金額 43,000円、内消費税額 3,909円)

賛助会員：企業単位 45,000円 (目安10名まで)
 (10%対象の税込金額 45,000円、内消費税額 4,090円)

賛助会員：個人単位 27,000円
 (10%対象の税込金額 27,000円、内消費税額 2,454円)

※ 9月7日の発表者は、大会期間中の全プログラムにオンラインで参加可能(申込不要)です。

※ 本協会加盟校は右サイトで確認下さい <https://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm>

参加者には、当日の Zoom 録画データを後日閲覧できるよう、5日間程度保管し、録画視聴としてテレビ会議室専用のページで案内します。

問い合わせ・送付先	公益社団法人私立大学情報教育協会事務局
	〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4F
	TEL:03-3261-2798 FAX:03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp
	https://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2023.htm